

「タクで新しい文化を」

全国の経営者ら集まりチームネクスト発足



セミナーと発会式を行ったチームネクストで講演する加藤高立千代田タクシー社長

代表世話人に天野氏(つばめ自)

タクシー産業の新しい発展を目指すタク経営者らの集まりとして昨年9月から京都、名古屋でイベントを続けてきた「チームネクスト」が20日、静岡で正式に発足した。「チームネクスト」の代表世話人に就任した天野清美(つばめ自動車社長、名古屋)は「求められているのは近い将来での結果」と強調、会員間の積極的な交流による活動の成果に期待した。当日は第3回イベントとしてセミナーも開催、千代田タクシー(静岡)の加藤高立社長らが講演。加藤社長は「地域の情報で知らないことがまだまだたくさんある。タクシー会社の商品棚は何か、付加価値とは何か、を考え、タクシーで○○する」という新しい文化をつくってほしい」と述べた。

チームネクストの発会式では、法人登録を基本とした会員規約を了承。代表世話人に天野清美(つばめ自動車社長、世話人に兼元秀和キャビック社長(京都)、加藤高立千代田タクシー社長、岩村龍一コミュニティタクシー社長(多治見)が就任した。天野社長は「サービスの軸」を徹底的に見直せばお客さまは戻ってくる。知恵を出し合い、タクシーが公共的使命を果たし、事業の社会的評価を高めていきたい」とあいさつした。

今後は①福祉・介護の観光②コミュニティ交通

の3つの分科会を設け活動。セミナーを年2回開催する。次回セミナーは7月に多治見市で予定している。セミナーの冒頭、事務局を務める清野吉光タクシーアシスト社長(システムオリジン社長)が「いよいよチームネクストが発足となる。新しいタクシーの市場

を創る」とする人たちの交流、実践の場が必要と確信している」と意義を強調した。セミナーでは、千代田タクシーの加藤高立社長が「タクシーの新しい需要は思わぬところにある」と、有料会員向けに旅行商品を展開しているベルテンプ・トラベル・アンド・コンサルタンツ(東京)の高萩徳宗社長が「売れるサービスのしくみ」と題し、それぞれ講演した。加藤社長は、1976年に車いす積載装置を開発

89年にはワンボックス型のユニバーサルキャブを導入するなど、これまでの同社の取り組みを示した上で、「鮎釣りタクシー」「南アルプスタクシー」「玉露タクシー」「パーベキュータクシー」など独自に手掛けたメニューを紹介。乗務員が利用者から聞いた声をきっかけに始めたパーベキュータクは、開始4年目の実績が114件、1000人を超えたと報告した。高萩社長は、タク事業者が提供するサービスについて「100満点で当てたで、利用を諦めている人前の軸」の部分と、あいているのはたぐと述べた。同社長は「旅行商品の中心軸が増えていく。輪もタクシーは重要な存在今後さらに中核的な存在」と期待を示した。